

# コロナ禍「困ったときは共産党」

6氏必勝へこくた国対委員長が支援

## 大激戦 尼崎市議選

5月30日告示（6月6日投票）の尼崎市議選は、定数42に有力57人が立候補予定の大激戦。こくた恵二衆院議員・党国対委員長は29日、共産党6氏全員勝利へ雨の中4予定候補を応援しました。

こくた氏は3つの国政選挙での野党候補の勝利、志位委員長、立憲・枝野代表との党首会談で総選挙協力のための協議開始で合意されたことを紹介。野党共闘への期待が高まる中での選挙であることをのべました。

菅政権のコロナ対策の無為無策、75歳以上の医療費の2倍化などに触れ、「日本は人間の国か」と指弾した故・小田実氏の言葉を紹介して厳しく批判。この悪政の下で尼崎市のコロナ対策は国の対策から一步も出ないこと、4カ所・2支所あった保健所を1保健所、2保健福祉センターに統廃合したことなどを批判。一方、市には財調基金が80億円あり、6人の勝利で市民の願い実現をと訴えました。

県立塚口病院を統廃合する計画に対し、共産党が市民と力を合わせ7万4000筆の署名を集めて守り抜いたこと、コロナ禍で同病院が命を守る砦になっていることを紹介し、尼崎における党の値打ちを紹介しました。こくた氏は最後に「なぜ今、共産党か」として①国民の苦難軽減に献身する党②「困ったときは共産党」③政治の根本的な歪みをただす党④共闘で政治を変えることを綱領に掲げている党⑤中国など覇権主義とたたかう党⑥であることを述べ、この党を伸ばしてこそ新しい政治が実現できると訴えました。

選挙戦は自民・公明・維新が大量立候補。日本共産党は川崎としみ、まさき一子、松沢ちづる、広瀬わかな（以上現）、山本なおひろ、シバタ稔（以上新）の各氏が6議席へ全力をあげています。5月2日には大門実紀史参院議員が支援に入ります。

こくた氏比例候補が訴え この日は、こくた潤比例・8区候補（前尼崎市議）が元同僚市議と総選挙勝利を訴えました。

## 奈良市議選・総選挙勝利へ「春風宣伝」西田・比例候補が訴え



共産党奈良市女性後援会は24日、市議選（7月11日投票）での7候補全員勝利と総選挙での党躍進をめざし「春風街頭宣伝」に取り組み、衆院比例代表候補の西田さえ子さんが谷川かずひろ1区候補、市議候補とともに7カ所で訴えました（写真＝左は山本直子市議）。

西田氏は「党をつくって以来、市民の苦難に寄り添い、力を尽くしてきた日本共産党の議席を国会でも地方議会でも伸ばしていくことがこのゆがみを

正す一番大きな力になる。政治を大きく変えて、ひとり一人の命と暮らしが大切にされる社会をご一緒に実現していこう」と力説しました。



広瀬わかな市議（左）勝利を訴える、こくた氏とこむら衆院比例候補＝29日

## 21近畿ブロック事務所ニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中・部内資料】

No. 23(2021.4.29)